



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 鈴茂器工株式会社
 コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 鈴木 美奈子
 (氏名) 志賀 融
 TEL 03-3993-1371

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,909	10.4	712	23.8	643	10.8	232	38.3
2019年3月期第3四半期	6,259	10.6	575	46.1	580	45.9	376	47.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 206百万円 (14.9%) 2019年3月期第3四半期 243百万円 (67.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	35.96	
2019年3月期第3四半期	58.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,709	11,474	83.6
2019年3月期	13,431	11,482	85.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,461百万円 2019年3月期 11,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,550	4.4	600	13.4	600	13.8	200	57.3	30.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	6,480,000 株	2019年3月期	6,480,000 株
2020年3月期3Q	78,012 株	2019年3月期	2,945 株
2020年3月期3Q	6,462,036 株	2019年3月期3Q	6,477,104 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足許では消費増税の駆け込み需要の反動が一部にみられたものの、雇用や所得環境の改善が続く中、個人消費は緩やかな増加基調にあります。一方、企業収益は、在庫の高止まりや輸出の低迷により弱含んでおり、景気全体では足踏み感がみられました。先行きについては、合理化・省力化投資等の設備投資や、消費増税後の個人消費の持ち直しにより、景気は緩やかな回復が持続するものと思われる。外需につきましては、日韓関係や米中貿易摩擦等に引き続き注視が必要な状況です。

このような環境のもとで、当社グループは、2019年11月13日に、2021年3月期を初年度とする5ヵ年の中期経営計画「Growth 2025」を公表いたしました。『食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ』を新ビジョンとして掲げ、最終年度である2025年3月期の売上高150億円、営業利益22億50百万円、営業利益率15.0%、ROE10.0%を連結目標数値として定めグループ一丸となって取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）の売上高合計は、69億9百万円（前年同四半期比10.4%増）と前年同四半期を上回る結果となりました。国内・海外別の売上高の内訳は、国内売上高が52億2百万円（同13.4%増）、海外売上高が17億7百万円（同2.2%増）となりました。国内売上高は、消費増税後の反動減の影響が少なく、当第3四半期も引き続き既存顧客への売上が堅調に推移し、前年同四半期を大きく上回る結果となりました。海外売上高は、北米・欧州地域の売上が堅調に推移したものの、アジア地域での売上が情勢不安等の影響により前年同四半期を下回り、前年同四半期に比べ微増となりました。

第3四半期連結累計期間の売上高

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減率
	百万円	百万円	%
国内	4,588	5,202	13.4
海外	1,670	1,707	2.2
合計	6,259	6,909	10.4

当第3四半期連結累計期間の営業利益は、売上原価および販売費及び一般管理費が前年同四半期を上回ったものの、売上高の伸びが大きく、7億12百万円（前年同四半期比23.8%増）と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。経常利益は、持分法適用関連会社であるBluefin Trading LLCの持分法による投資損失68百万円を営業外費用に計上したものの、6億43百万円（同10.8%増）と前年同四半期を上回る結果となりました。

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、退職役員に対する特別功労金1億50百万円を特別損失に計上した結果、2億32百万円（前年同四半期比38.3%減）となり、前年同四半期を下回る結果となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加し137億9百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億21百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億86百万円増加し22億35百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1億29百万円、買掛金が92百万円、その他に含まれる未払消費税等が64百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し114億74百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により1億29百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益により2億32百万円増加したことに加え、自己株式の取得により1億22百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、2019年5月14日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,503,270	6,664,160
受取手形及び売掛金	1,102,348	1,323,606
たな卸資産	1,866,377	1,793,985
その他	120,560	58,151
流動資産合計	9,592,556	9,839,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,474,962	1,401,261
土地	1,125,607	1,125,607
その他(純額)	98,018	155,040
有形固定資産合計	2,698,588	2,681,909
無形固定資産	150,828	192,290
投資その他の資産		
投資有価証券	427,007	533,718
繰延税金資産	364,147	366,492
その他	208,446	105,848
貸倒引当金	△10,480	△10,480
投資その他の資産合計	989,121	995,579
固定資産合計	3,838,537	3,869,778
資産合計	13,431,094	13,709,683
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,376	437,961
未払法人税等	31,472	161,227
賞与引当金	163,264	88,974
その他	399,490	497,587
流動負債合計	939,604	1,185,750
固定負債		
繰延税金負債	865	1,232
役員退職慰労引当金	16,768	7,768
退職給付に係る負債	959,130	983,198
その他	31,950	57,149
固定負債合計	1,008,714	1,049,348
負債合計	1,948,318	2,235,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	9,387,360	9,518,749
自己株式	△3,544	△125,904
株主資本合計	11,521,193	11,530,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,612	92,922
為替換算調整勘定	4,638	△11,319
退職給付に係る調整累計額	△164,669	△150,017
その他の包括利益累計額合計	△38,418	△68,414
非支配株主持分	—	12,776
純資産合計	11,482,775	11,474,585
負債純資産合計	13,431,094	13,709,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	6,259,695	6,909,534
売上原価	3,254,063	3,588,408
売上総利益	3,005,631	3,321,126
販売費及び一般管理費	2,430,006	2,608,365
営業利益	575,625	712,760
営業外収益		
受取利息	955	960
貸倒引当金戻入額	1,410	—
受取配当金	2,314	2,721
その他	2,240	2,868
営業外収益合計	6,920	6,550
営業外費用		
手形売却損	127	20
売上割引	830	1,295
為替差損	571	4,409
持分法による投資損失	—	68,867
その他	38	853
営業外費用合計	1,567	75,446
経常利益	580,977	643,864
特別利益		
投資有価証券売却益	—	935
有形固定資産売却益	691	592
保険解約返戻金	—	33,739
特別利益合計	691	35,267
特別損失		
固定資産除却損	1,681	23,013
電話加入権評価損	2,393	—
役員特別功労金	—	150,000
特別損失合計	4,075	173,013
税金等調整前四半期純利益	577,594	506,117
法人税等	200,999	271,567
四半期純利益	376,594	234,549
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,169
親会社株主に帰属する四半期純利益	376,594	232,380

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	376,594	234,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,138	△28,690
為替換算調整勘定	3,396	△13,749
退職給付に係る調整額	△158,055	14,651
その他の包括利益合計	△133,519	△27,788
四半期包括利益	243,074	206,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,074	205,042
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,718

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計上の見積りの変更)

第2四半期連結会計期間において、当社仙台営業所の旧建物の取り壊しを決定したため、利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、取り壊し予定日までの期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が23,068千円増加し、営業利益、経常利益が同額減少しておりますが、当第3四半期連結会計期間に旧建物の取り壊しを完了したため、税金等調整前四半期純利益には影響ありません。